

令和5年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画

当事業団は開設以来、宇都宮市及び近隣住民の健康増進と地域医療に大きく寄与してきた。本年度においても、初期救急医療事業による安全・安心な医療の提供、地域住民の健康づくり及び医療従事者の養成など地域住民の公益増進を図るため、公益法人として、地域の関係機関と緊密な連携・調整を図りながら、次の事業を推進していく。

- 夜間・休日における初期救急医療事業
 - ・ 地域住民への夜間・休日における一次救急医療の提供
 - ・ 救急医療への理解と健康に対する知識の向上のための普及・啓発活動
- 地域住民の健康維持・増進事業
 - ・ 中小事業所従業員を中心とした事業所健診や市民を対象とした住民健診などの各種健診事業
 - ・ 健診の受診結果を踏まえ今後の生活改善につなげる健康支援事業
 - ・ 健診データを基に健康づくりに向けた地域的課題を整理し、その結果を行政等に提供するなど地域の健康づくり対策を促進する情報収集・情報発信事業
 - ・ 健康づくりに必要な疾病予防や健康に関する知識の向上及び健康診断や保健指導の意義を周知するための普及・啓発活動
- 地域医療従事者養成事業
 - ・ 准看護師及び歯科衛生士を地域医療従事者として安定的に確保するための医療技術者の養成及び地域の医療機関等への就業支援

1 夜間休日救急診療所部門

宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、夜間や休日における応急処置を目的とする一次救急医療を確保する。

従事者の勤務環境の改善に努めながら、地域住民に安全・安心な一次救急医療を提供するため、受付時間及び休憩時間の周知を図るとともに、夜間休日救急診療所の適正受診や健康に対する意識の向上を図るための普及・啓発活動を行っていく。

また、感染の疑いのある患者と一般患者との動線分離や感染疑いのある患者専用の診療室の設置などのための施設内改修を行い、これまで以上に安全・安心な受診環境の提供に取り組む。

(1) 夜間及び休日の一次救急診療の実施

ア 開所日数

- ・ 夜間診療 366日（準夜帯，深夜帯）
- ・ 昼間診療 74日（日曜，祝日，5月連休，旧盆，年末年始）

イ 診療スタッフ年間動員数 (単位：人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	220	85	168	355	96	318	1,242	1,227	15
準夜	799	378	466	1,239	390	880	4,152	4,139	13
深夜	732	—	366	732	—	366	2,196	2,190	6
合計	1,751	463	1,000	2,326	486	1,564	7,590	7,556	34
前年度	1,743	461	996	2,316	484	1,556	7,556	/	
増減	8	2	4	10	2	8	34		

(2) 診療体制の維持・強化

- ア 医師の安定確保のため，派遣協力医療機関との連携強化
- イ 後方病院並びに後方支援病院を始めとする協力医療機関との連携強化
- ウ 協力医療機関等と緊密に連携し，医師の働き方改革を着実に推進
- エ 患者の診療実績及び繁忙状況等を踏まえたスタッフの配置
- オ 医療サービス向上のための診療スタッフへの効果的な研修・指導の実施
- カ 診療内容や受付時間，休憩時間等の適正受診に関する周知や，医療従事者の良好な勤務環境の整備に努め，より安全・安心な一次救急医療を提供
- キ 感染症に対応するための，感染予防の徹底及び安全・安心な受診環境の提供

(3) 普及・啓発活動

- ア 親子学級などにおける啓発活動
 - ・ 市保健センターで開催される「ママパパ学級」において，「救急診療所の適正受診」に関する啓発チラシの配布等
- イ メディアを通じた啓発活動
 - ・ 5月の連休，旧盆及び年末年始時の救急医療機関の適正受診の啓発及び季節の節目において，健康に関する「ワンポイントアドバイス」を放送
 - ・ 新聞の健康特集誌に「救急医療機関の適正受診」などの啓発広告を掲載
- ウ 公共機関等における啓発活動
 - ・ 子どもを持つ保護者を対象に，市が実施する「赤ちゃん訪問」時や子育てサロンにおいて，「救急診療所の適正受診」についての啓発チラシの配布等

2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康の維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施している。

まず、健診事業については、令和2年の新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、健診件数が大きく落ち込んで以来、令和3年度、令和4年度と回復基調にあるものの、未だコロナ禍前の令和元年度のレベルとは乖離がある状況にある。令和5年度は、令和元年度実績レベルへの回復を目指した積極的な事業を推進する。新たな取組みとしては、インターネット環境に生まれ育ったデジタルネイティブ世代への働きかけが重要であることから、将来のWeb予約システム構築を見据えたホームページのリニューアルを行う。また、渉外担当をはじめとした営業の企画力を活かした取組みを実施する。具体的には、事業所健診の定期健康診断の受診者に対し、より詳細な健診である生活習慣病予防健診への移行を促すことや、市民ニーズを踏まえた新たな検査の導入などである。

次に、健康支援事業においては、健診当日の初回面接やICT等を活用した面接など、保健指導を受けやすい環境を整備し、受診者の負担軽減を図る。

今後とも、損益分岐を意識した費用の最適化や精度管理の向上、安全管理の徹底等により、市民の皆様信頼される健診体制の維持・向上に努める。

(1) 健診事業

ア 事業所健診

- ・ 日本人の患者数が多い脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを調べる血液検査を実施する。(新規)
- ・ 定期健康診断の受診者に対して、渉外担当による生活習慣病予防健診への移行勧奨を強化する。
- ・ 受診率向上に向け、ホームページや機関紙、検診車へのボード掲示、事業団建物への横断幕の掲示など様々な媒体による広報活動を充実させるとともに、受診団体や関係機関との密接な連携による受診勧奨に取り組む。

イ 住民健診

- ・ 昨年度から実施している採尿の自宅採取方式や、食物繊維入りペットボトルの胃部X線検査受検者への提供について、ニーズ等を踏まえ継続して実施する。
- ・ 市民ニーズが高い総合健診の枠の拡大や、大規模商業施設における出前健診の実施、効果的な受診勧奨策など、市保健所健康増進課と連携して取り組み、受診率の向上を図る。
- ・ 健診フロアにおける受診者対応の中心的な役割を担うフロアマネージャーの設置など、サービスの向上に努める。

ウ 子ども健診

各種学校との連携により、効率的な巡回健診や集団健診の推進に努める。

(単位：件，%)

健康診断種別		令和5年度 計画(件)	令和4年度 計画(件)	増減	
				(件)	(%)
事業所健診	定期健康診断	19,350	19,901	△551	△2.8
	生活習慣病予防健診	12,250	11,760	490	4.2
	人間ドック	1,750	1,679	71	4.2
	特殊健康診断	3,450	3,210	240	7.5
	結核検診	4,250	4,145	105	2.5
	ストレスチェック	5,400	5,315	85	1.6
	その他の健診	2,700	3,033	△333	△11.0
	計	49,150	49,043	107	0.2
住民健診	節目健診	2,250	2,797	△547	△19.6
	地区健診	6,850	7,547	△697	△9.5
	地区巡回健診	9,850	8,618	1,232	14.3
	乳がん検診	6,600	5,673	927	16.3
	子宮がん検診	5,250	4,914	336	6.8
	結核検診	0	14	△14	皆減
	特定健康診査単独	50	94	△44	△46.8
	その他の健診	50	60	△10	△16.7
	小計	30,900	29,717	1,183	4.0
子ども健診	心臓検診	13,500	13,967	△467	△3.3
	結核検診	4,200	4,350	△150	△3.5
	その他の健診	6,500	8,800	△2,300	△26.2
	小計	24,200	27,117	△2,917	△10.9
合計		104,250	105,877	△1,627	△1.5

(2) 健康支援事業

- ・ 健診日当日に指導対象者への初回面接を実施し、早期に生活習慣の改善する必要性の理解促進につなげるとともに、受診者の負担の軽減を図る。
- ・ 特定保健指導を受けやすい環境を整備するため、ICTを活用した面接指導や、電話による面接指導等遠隔による保健指導を推進する。

(単位：件，%)

保健指導区分	令和5年度 計画(件)	令和4年度 計画(件)	増減	
			(件)	(%)
特定保健指導	640	738	△98	△13.3
健康相談	51	11	△40	363.6
事後指導	2,500	2,650	△150	△5.7

健 康 教 室	328	280	48	17.1
結 果 説 明	4	11	△7	△63.6
計	3,523	3,690	△167	△4.5

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

地域住民の健診データを基に、今後の健康づくりに向けた課題等を整理し、その結果を報告書等にまとめて行政等に提供することにより、健康づくり政策に貢献していく。

(4) 普及・啓発活動

ア メディアを通じた普及・啓発活動

10月の乳がん啓発月間をはじめとした各種運動月間等の期間中に、生活情報紙やラジオ等の媒体を活用して、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に対する情報を市民に提供する。

イ 各種健診の受給率向上への取組み

ホームページや情報紙への掲載、チラシの配布、健康教室の開催など、様々な媒体を活用し、疾病予防など健康関係情報を発信することで、健診未受診者に対して行動変容を促す。

ウ 保健師による健康教室

保健師や管理栄養士が事業所等に出向き、健康や栄養に関する講義や指導を行う健康教室を開催し、市民の健康に関する意識向上に努める。

エ 健康冊子の配布及びホームページへの掲載

保健師が作成する健康に関する有益な情報をホームページに掲載するほか、チラシにまとめ事業所に配布するなど、広く市民への周知を図る。

オ 宇都宮ブリッツェンとのコラボによる普及啓発

自転車プロロードレースチームである宇都宮ブリッツェンが主催するイベント会場等において、健康に関する最新の情報等についての資料配布を行うなどの普及啓発を行う。

(5) 信頼される健診体制の維持・向上

ア 精度管理の向上

- ・ 人間ドック学会等が主催する各種研修会等にオンライン参加し、健診スタッフ個々の資質の向上に努める。
- ・ 日常的に使用する各種検査機器が確実に稼働し、正確なデータが得られるよう、日々の始業点検や保守点検を徹底など、内部精度管理の充実に努める。
- ・ 全国労働衛生団体連合会が主催する胸部X線検査、腹部超音波検査、血液検体検査の外部精度管理を受審する。

イ 安全管理の徹底

健診業務において発生するおそれのある医療事故や交通事故防止のため、「健診事故防止対策委員会」等により、リスクマネジメントを積極的に推進するとともに、よ

り気密性の高い個人情報を取り扱う健診機関として、健診データ等の取扱管理の安全対策を徹底し、安全・安心な健診の推進に努める。

ウ 健診システムの安定的な運用

令和4年度に予約業務から請求業務まで一貫して管理する新たな健診システムが稼働したことから、新たに健診日計表・月計表作成業務のシステム化や、より人的な負担を軽減する仕組みの導入等、システム導入効果の最大化を図る。

(6) ホームページのリニューアル

インターネット環境に生まれ育ったデジタルネイティブ世代への働きかけが、健診事業拡充の鍵となることから、コンテンツの充実はもとより、スマホ検索を意識した画面展開や、将来に向けWebでの健診予約が可能なシステム構築など、ホームページをリニューアルする。

(7) 経営の安定化

事業のコストパフォーマンスに注目し、健診の実施体制の検討や支出の削減など、より適切な損益管理に努め、経営の安定化に努める。

(8) 感染症対策

健診は疾病の予防や早期発見・早期治療の機会として重要であることから、各種健診を着実に実施するよう、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染症防止対策を徹底する。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として必要な知識及び技術を修得し豊かな人間性を養い、職業人としての自覚と責任を持ち、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目標として事業を推進する。

このような中、入学生の減少など厳しい経営が続いていることから、生徒の確保策や経営基盤の強化策など、必要な対策を引き続き検討しながら事業を推進していく。

また、新カリキュラムによる准看護師教育への円滑な対応を徹底するとともに、准看護師として必要な知識及び技術を習得させ、地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育内容の充実に努めるほか、研修会等への積極的参加による職員の資質向上を図る。

さらに、生徒の個性に応じた教育・指導を進めるとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用するなど、計画的な教育環境の整備をさらに継続する。また、意欲ある入学者の確保を図るため、令和6年度末の閉校が決まった上都賀郡市医師会附属看護学校のエリアへの積極的な募集活動に新たに取り組むなど効果的な訪問活動やICTの活用による広報活動など生徒確保対策を充実強化する。

(1) 教育実施体制

学年	定員	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計 (時間)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	合 計 (時間)	協 力 講師数 (人)	実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
		論理的 思考の 基礎 人間と 生活・ 社会 (時間)	人体の仕組み と働き 栄養 薬理 疾病の成り立 ち その他 (時間)	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護 (時間)					
1年生	40人	70	248	512	830	50	238	14	1,068
2年生	40人	0	102	223	325		497		822
合計	80人	70	350	735	1,155	50	735	14	1,890

(2) 生徒確保対策の強化

ア 高等学校、児童養護施設、母子生活支援施設等の訪問や病院訪問、ハローワーク、市役所等の公的機関への情報提供のほか、上都賀郡市医師会会員への生徒募集ポスターの配付

イ 効果的な時期における学校見学会の開催（3回）

- ウ ICTを活用した広報活動の充実
- エ 各種修学資金制度のPR

(3) 教育環境の充実

- ア 生徒指導，相談体制の強化
 - ・ スクールカウンセラーの活用
 - ・ 個別相談等の充実
- イ 教育用器材の整備

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上，教育力の強化
- イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進

(5) 実践活動の充実

- ア 施設見学，1・2年生合同研修等の実施
- イ 特別講義の実施

(6) 地域医療への就業支援

- ア 進路指導・就業指導による進学・就業支援（県内定着率の安定的な維持）

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を学生に修得させ、宇都宮市及び県内近隣地域の歯科医療及び口腔衛生の普及向上に寄与できる有能な歯科衛生士を養成することを目標とする。

そのため、学校と講師及び臨床実習指導教員との円滑な連携による指導体制の充実強化や計画的な教育器材の整備などの教育環境の充実、授業計画に基づく講義や大学病院・介護施設での実習等を引き続き実施するなどの教育実施体制の充実を図る。

(1) 教育実施体制

学年	定員	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合計	協力講師数
		英学生心理学その他 (時間)	解剖学発生学生理学生化学歯牙解剖学病理学薬理その他 (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法学 口腔外科学 その他 (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科 (時間)		
1年生	50人	105	204	471	30	810	35
2年生	50人	30	30	105	45	210	11
3年生	50人	15	198	423	30	666	10
合計	150人	150	432	999	105	1,686	56

臨地実習		教育実施時間合計 (時間)
実習時間 (時間)	実習施設 (機関)	
—	—	810
765	37	975
135		801
900	37	2,586

(2) 学生確保対策の強化

- ア 学校ホームページのリニューアル
- イ 推薦指定校等への学校訪問, 資料送付
- ウ オープンキャンパス・学校見学会の実施
- エ 進学相談会・進路説明会への参加
- オ 新聞広告等を活用した学生募集PRの実施
- カ JR宇都宮駅・東武宇都宮駅等への学生募集ポスターの掲示
- キ 広報活動の充実

(3) 教育環境の整備

- ア プロジェクターの配置
- イ 事務用パソコンの更新
- ウ ユニット用ファントムの更新

(4) 教育内容の充実

- ア 入学前教育の充実
- イ 講師及び実習指導者との円滑な連携の推進
- ウ 国家試験対策補講の強化
- エ 専任教員の資質の向上

(5) 実践活動の充実

- ア 特別講義の実施
- イ フッ化物塗布事業, 歯の健康教室などへの参加
- ウ ㈱ナカニシ(歯科医療関連企業)の見学

(6) 地域医療への就業支援

- ア 有能な歯科衛生士を養成し地域の医療機関等へ就業させることによる地域医療従事者の安定確保
- イ 地域の医療機関に就業する成績優秀な卒業生を表彰